

iCS しター

～iCSフォーラム、赤塚第三中学校・板橋第二中学校CS委員会特集～

発行元：教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

7月22日(月)にiCSフォーラム(CS委員長会議)を開催し、対面とオンライン合わせて130名以上の方に参加していただきました。

今回は、iCSフォーラムの様子と、赤塚第三中学校、板橋第二中学校のCS委員会について紹介します。

iCSフォーラム(CS委員長会議)を開催しました！

7月22日(月)に、CS委員、地域コーディネーター、学校教職員、保護者の方を対象に、iCSフォーラム(CS委員長会議)を開催しました。今回は、「iCS導入から4年 ～自分と学校の現在地～」をテーマに掲げ、講義とグループワークを通して、段階的にゴール地点まで進む道のりと、自分自身と自校の現在地について確認しました。

第一部の講義は、一般社団法人共創プロジェクト代表理事 香月よう子氏と、統括コーディネーター 白鳥円啓氏による対談方式で行われ、iCSの取組についてお話いただきました。「地域として、学校のために何をめざして活動しているのか、どうして活動しているのか」という**心**の部分のお話と、「授業参観のポイント、学校経営方針を承認する上での、めざす子ども像の共有について」などの、**技**の部分に関するお話がありました。「難しく考えず、やれることからやってみてほしい。活動している中で、子どもたちから学ぶことはたくさんある。お互いに学び合える環境は、居場所づくりにも繋がる。」という言葉が印象的でした。



第二部のグループワークでは、キックオフミーティングのチェックシートに基づいて、自分の学校ができていること、これから伸ばしていきたいと思うこと、他の学校の取組について聞いてみたいことなどを話し合いました。参加者からは、「目的や目標を具体化し、共有することの大切さ、地域に委ねることの重要性を改めて確認できた。」「委員長との事前打合せが重要であることに気が付けた。今回の講義での学びを自校のCS委員会で活かしていきたい。」などの声があり、学校と地域がそれぞれの考えや役割について再確認する機会となりました。



iCSフォーラムの講義をアーカイブ配信いたします。

二次元コード先のリンクから12月31日までご覧いただけます。ぜひご覧ください！



☆赤塚第三中学校～盆踊りをきっかけに～☆

赤塚第三中学校では、昨年度のCS委員会に生徒会役員が参加し、「地域へのボランティア」について熟議をしました。その中で「町会の盆踊りの踊り手が足りない」という地域課題が話題となりました。今年度、CS委員会と生徒会役員が中心となって中学生に盆踊りを知ってもらうため、町会の方が学校で踊りを教えるのはどうかということになり、放課後に練習会を開催し、希望する生徒が参加することになりました。

練習会前の7月2日に開催されたCS委員会では、生徒会役員5名を交えた熟議が行われました。熟議では2つのグループに分かれ、「盆踊りの踊り手ボランティアについて」と「地域と協力できること、学校が協力してもらいたいこと」についてそれぞれ話し合いました。

委員からは「子どもたちの前向きな話を直接聞いてよかった。子どもたちと向き合いながら、少しずつだがやるのが見えてきた。」「中学生と地域と一緒にやることで、お互いに刺激になる。」といった意見が出ました。

練習会は2回開催され、「板橋音頭」や赤塚地域の踊り「赤塚よいとこ」など5曲を町会の方が教えてくれました。参加した生徒は「子どものころに盆踊りに行ったことはあるけれど、踊ったのは初めて。」「踊りを覚えていくのが楽しかった。」と、とても楽しんでいました。CS委員は「地域の盆踊りを知ってもらえたことがよかった。これをきっかけに子どもたちが盆踊りに来て、楽しかったよ、と他の子たちに口コミで広がれば…。」と、盆踊りをきっかけに中学生と地域がつながっていくことを期待しています。



☆板橋第二中学校～アプリを活用した熟議～☆

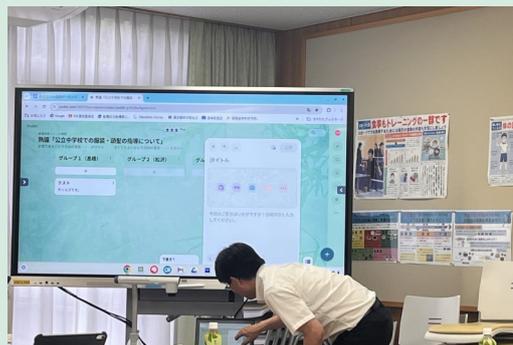
各学校に提出していただいたキックオフミーティングの振り返りシートより、「熟議で出た意見や考えを可視化すること。」「議事録の作成を委員が行うこと。」という項目について、できていないと回答した学校が多く、意見の可視化や熟議のまとめ方、議事録の作成について模索中の学校が多いことが分かりました。

「Padlet」という無料オンライン掲示板アプリを活用し、意見の可視化に役立てていた板橋第二中学校の事例をご紹介します。

「公立中学校での服装・頭髪の指導について」という熟議のテーマに対して、各CS委員がアプリ上で、「服装・頭髪の指導が必要である。」という方向の意見は白い付箋に、「必要でない。」という方向の意見は黄色の付箋に自分の意見を書き込んでアップロードします。すると、電子黒板に映されている共有画面に付箋が表示されます。一つひとつの意見をピックアップしながら話し合いを行っていました。各自のスマートフォン端末から操作できるため、より気軽に意見を出すことができます。また、このアプリでは、意見の可視化に加えて、ボタン一つで熟議の内容を集約した議事録も作成できます。

委員からは、「意見の可視化ができることで、話し合いからまとめまで円滑に進んだ。頭の中を整理しながら熟議にのぞむことができた。」という声がありました。

【画面共有】



【議事録】

議題番号 42020204 10
熟議「公立中学校での服装・頭髪の指導について」
必要であるという方向の意見・・・ホワイト なくてもよいという方向の意見・・・イエロー

グループ1

10 髪型について
髪型の長さについて、差別はあるでしょうか、あるとすれば、行き過ぎはないでしょうか。

10 服装を着るぶんの色について
黒、紺、茶色の指定がありますが、色の指定する必要があるでしょうか。

グループ2

10 その上着について
2学期にダブル、ビーズの指定がありダブルコートを購入しましたが、着る暇がないので毎年ほとんど着ていません。ダウンなどの軽くて購入しやすいもので色の指定のみで良いのではないでしょうか。

10 靴下について
ライン柄が不可なのはなぜでしょうか。

10 公立中学校での服装・頭髪の指導について
あまり厳しくなくていいと思っています。

10 春秋の温度調整が難しい時期に、教室でセーター、カーディガンの着用不可は続いていますでしょうか。

グループ3

10 制服着り、ボロシャツ等、季節に応じたの可視化